

幡多地域アクションプランの追加、削除、拡充等  
(予定項目)

幡 多 地 域 本 部

令和5年2月1日(水)



# 地域アクションプランの令和5年度の追加・削除等(予定項目)

## 地域アクションプランへの支援の方向性

新規事業の掘り起こしや既存事業が抱える課題の解決を図りながら、地域アクションプランの実現に向けて、産業振興推進地域本部を中心に取り組みを推進していく。

- (1) 新規事業の掘り起こし  
発掘支援型アドバイザーと連携して、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし
- (2) 課題解決に向けた支援
  - ①課題解決型アドバイザーと連携して、個別課題の解決を支援
  - ②課題一貫支援型アドバイザーと連携して、地域への経済波及効果大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援

## 地域アクションプランの増減 (▲1)

- (1) 追加(新規) : 3件
  - 仁淀川町滞在交流型観光の推進(仁淀川町)
  - 梶原町産の桜を活用した加工品等の生産・販路の拡大(梶原町)
  - 地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進(四万十市)
- (2) 削除(廃止) : ▲2件
  - 温泉開発による観光地としての魅力向上(高知市)
  - 須崎市養殖漁業等のさらなる振興(須崎市)
- (3) 統合 : ▲2件
  - 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入れ体制の充実(仁淀川町)  
→仁淀川町滞在交流型観光の推進(仁淀川町)へ統合
  - 「黒潮本陣」を核とした滞在型観光推進(中土佐町)  
→中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進(中土佐町)へ統合

## 地域アクションプラン数 R4年度 218件 → R5年度 217件 (▲1)

	R4年度 (第4期Ver.3)	R5年度 (第4期Ver.4)				AP数
	AP数 R5.1月時点	増減				
		追加	削除	統合	計	
安芸	30					30
物部川	24					24
高知市	22		▲1		▲1	21
嶺北	24					24
仁淀川	34	1		▲1		34
高幡	40	1	▲1	▲1	▲1	39
幡多	44	1			1	45
合計	218	3	▲2	▲2	▲1	217

○地域産業クラスタープロジェクト R4年度 18件 → R5年度 17件 (▲1)

# 幡多地域アクションプラン項目（第4期計画Ver.3（R4年度））と

No.	現在(令和4年度)	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		10	11	13	8	8	9
1	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進	●					
2	土佐極鶏あしりキングの生産加工・流通・販売の推進		●				
3	四万十ふしゅかんの産地形成とブランド化			●			
4	三原村ユズ産地化計画の推進					●	
5	大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進				●		
6	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	●					
7	すくも湾漁協による水産物の加工・販売	●					
8	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売	●					
9	宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大				●		
10	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大				●		
11	幡多地域産品販売体制の構築	●	●	●	●	●	●
12	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進	●					
13	幡多地域で昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進	●					
14	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進		●				
15	宗田節だし加工商品の販路拡大の促進		●				
16	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築		●				
17	宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化		●				
18	新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化		●				
19	西土佐産栗の地産外商の推進			●			
20	四万十牛の生産・加工・販売体制の強化			●			
21	売り出せ西土佐プロジェクト推進(拠点ビジネス)			●			
22	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化			●			
23	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大			●			
24	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進			●			
25	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進			●			
26	地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化			●			
27	道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出				●		
28	三原村のどぶろくによる地域活性化					●	
29	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進					●	
30	黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進						●
31	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進						●
32	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進						●
33	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進						●
34	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進						●
35	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進	●	●	●	●	●	●
36	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化	●	●	●	●	●	●
37	宿毛市の地域資源を活用した観光振興	●					
38	竜串地域の観光再生構想の推進		●				
39	土佐清水まるごと戦略観光の展開		●				
40	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進			●			
41	大月町の地域資源を活用した観光振興				●		
42	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光推進					●	
43	黒潮町の地域資源を活用した観光推進						●
44	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興					●	

# 第4期計画Ver. 4 (R5年度) の対比表

【幡多地域】

追加	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	改定案(令和5年度)
	10	11	14	8	8	9		
	●						1	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進
		●					2	土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進
			●				3	四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化
					●		4	三原村ユズ産地化計画の推進
				●			5	大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進
	●						6	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト
	●						7	すくも湾漁協による水産物の加工・販売
	●						8	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売
				●			9	宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大
				●			10	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大
	●	●	●	●	●	●	11	幡多地域産品販売体制の構築
	●						12	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進
	●						13	幡多地域で昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進
	●						14	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進
	●						15	宗田節だし加工商品の販路拡大の促進
	●						16	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築
	●						17	宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化
	●						18	新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化
		●					19	西土佐産栗の地産外商の推進
		●					20	四万十牛の生産・加工・販売体制の強化
		●					21	売り出せ西土佐プロジェクト推進(拠点ビジネス)
		●					22	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化
		●					23	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大
		●					24	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進
		●					25	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進
		●					26	地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化
追加		●					27	地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進
				●			28	道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出
					●		29	三原村のどぶろくによる地域活性化
					●		30	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進
						●	31	黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進
						●	32	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進
						●	33	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進
						●	34	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進
						●	35	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進
	●	●	●	●	●	●	36	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進
	●	●	●	●	●	●	37	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化
	●						38	宿毛市の地域資源を活用した観光振興
		●					39	竜串地域の観光再生構想の推進
		●					40	土佐清水まるごと戦略観光の展開
			●				41	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進
				●			42	大月町の地域資源を活用した観光振興
					●		43	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光推進
						●	44	黒潮町の地域資源を活用した観光推進
						●	45	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興



## 幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

### ■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進（四万十市） 【実施主体】（有）四万十食品	新たな施設・設備を整備し、地元食材を活用した新商品開発や既存商品の増産による販売拡大を図ることにより、生産者等の所得向上や雇用の創出を目指す。

### ■削除

なし

### ■その他（拡充、統合、分割）

なし

# 追加項目（案）

追加

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.27 地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進</b> (四万十市)
<b>実施主体</b>	(有)四万十食品
<b>APへの 位置づけ</b>	R5.4月
<b>事業概要</b>	新たな施設・設備を整備し、地元食材を活用した新商品開発や既存商品の増産による販売拡大を図ることにより、生産者等の所得向上や雇用の創出を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
売上高	2億6,492万円 (R4年度)	2億4,942万円	2億6,687万円	2億6,492万円	2億9,267万円

会計年度：9～8月

## これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>生産体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社設立 (H11)</li> <li>・佃煮の製造販売強化に向けた工場拡張、機械設備の導入、雇用創出 (H15)</li> </ul> <p>◆<b>商品開発、販路開拓</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材（四万十の海苔、柑橘類、畜産物、魚介類）を使用した商品開発 (H20～)</li> <li>・高知県産野菜を使用した商品開発 (H28～)</li> <li>・ふるさと納税への出品 (H29～)</li> <li>・お土産店へのNB商品の販売強化 (H30～)</li> <li>・PB、NB商品の販売強化 (R1～)</li> <li>・四万十天然水を使用したのり佃煮や新たなPB商品の開発 (R3～)</li> <li>・県内外の商談会への出展</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PB、NB商品の開発、販売強化等の取組により、コロナ禍においても売上は堅調に推移</li> <li>・従業員16名（うち、R4雇用：4名）</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の増産や新商品開発のニーズに合わせた生産拡大（販売機会の損失解消）→ 新工場の建設</li> <li>・機械設備の老朽化 → 新たな機械設備等の導入</li> <li>・衛生管理体制の強化 → 県版HACCPの認証取得</li> <li>・従業員の高齢化や生産拡大に伴う新規雇用者の増 → 人材確保・育成</li> </ul>
---	--



第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降	
<p>◆生産体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)四万十食品： 新工場の建設、機械設備等の導入</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金による施設整備等の支援</li> </ul>			<p>施設整備の検討</p>	<p>新工場の建設、機械設備等の導入</p>	<p>新工場の稼働</p>
<p>衛生管理体制の強化及び人材確保・育成</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)四万十食品： 県版 HACCP 認証取得に向けた取り組み、工場の拡大に伴う雇用の創出、人材育成</li> <li>●県（地域本部等）： 県版 HACCP に関する講習会及び研修会等に係る情報提供、その他各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>						
<p>◆商品開発・販路開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)四万十食品： 既存商品の増産体制の確立、新商品開発依頼への対応、新たな原材料の確保</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発のための産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>			<p>既存商品の増産、新商品の開発</p>		
<p>販路開拓</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)四万十食品： 県内外の商談会やイベント等への出展</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会等の情報提供</li> </ul>						

# 修正項目（案）

修正前

## 幡多地域アクションプラン

分野

水産業

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	◎土佐清水食品(株)、土佐清水鰹節水産加工協同組合、宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市
<b>APへの 位置づけ</b>	H21.4月
<b>事業概要</b>	土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売の促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消・外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
土佐清水食品(株)の売上高	18.5億円 (H30)	18.9億円		23.6億円

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>保管・加工施設の整備及び運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業戦略策定 (H29、土佐清水 HD)</li> <li>・メジカ産業プロジェクト推進協議会の設立 (H29)</li> <li>・新冷凍保管施設の稼働開始 (H31.4月)</li> <li>・残渣処理施設の稼働開始 (R3.1月)</li> <li>・共同加工施設本体工事完成 (R3.10月)</li> <li>・県版 HACCP 旧第2ステージ認証取得 (H29)</li> <li>・県版 HACCP 旧第3ステージ認証取得 (R元)</li> </ul> <p>◆<b>スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物流通システムの整備等 (H21、元気プロジェクト) →産振補助金の活用</li> <li>・殺菌・真空包装機器の整備 (H22、土佐食) →産振補助金の活用</li> <li>・新商品開発 (H23、H25、元気プロジェクト) →H23、H25 産振補助金の活用</li> <li>・宗田節ポン酢が「高知家のうまいもの大賞」優秀賞受賞 (H28)</li> <li>・スープブロス開発 (H30)</li> <li>・土佐清水食品(株)発足 (R元) 〔土佐清水ホールディングス(株)が土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクトを吸収合併〕</li> <li>・スープブロスのテストマーケティング開始 (R元～)</li> <li>・スープブロス製造ラインの整備 (R3) →R2 産振補助金の活用</li> </ul>	<p>◆<b>メジカ・宗田節の全国的なPR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節 PR(テレビ CM 等) (H24、知ってもらいたい委員会) →H24 産振補助金の活用</li> <li>・宗田節ロード(スタンプラリー)実施 (H29～R2)</li> <li>・宗田節まつりの開催 (H30、R元、R3)</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節まつり来場者数 〔H30: 2,200人、R元: 2,500人、 R3: 9,500人(産業祭と合同開催)〕</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同加工施設及び残渣処理施設の運営</li> <li>・新会社(土佐清水食品(株))の効率的な組織運営</li> <li>・スープブロスの全国販売を通じた、宗田節の知名度の全国的な向上、販路拡大</li> <li>・市民向けプロモーション</li> </ul>

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆保管・加工施設の整備及び運営	保管・加工施設の整備及び円滑な運営				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市、土佐清水鯉節水産加工協同組合： 共同加工施設（R4.4月稼働予定）、残渣処理施設（R3.4月稼働開始）の整備、冷凍保管施設（H31.4稼働開始）をはじめ整備施設の円滑な運営、宗田節加工事業者の施設利用の促進</li> <li>●土佐清水食品㈱： 効率的な人員配置・生産管理等による3施設の円滑な運営</li> <li>●県（水産振興部等）： 施設整備にあたっての国補助制度活用に関する支援、衛生管理研修会の情報提供、HACCPアドバイザーの活用による社内勉強会実施を支援</li> </ul>				
◆スープブrossを核とした、製造・販売体制の確立	製造ライン整備		スープブrossの製造の拡大に向けた体制づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： 製造ライン整備にかかる事業計画策定、ライン整備</li> <li>●土佐清水市：製造ラインを整備する施設の貸与、市産業振興補助金による支援</li> <li>●県（地域本部等）： 製造ライン整備の事業計画策定の支援、産業振興総合補助金による支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： 新会社の効率的な運営体制の再構築、衛生管理に関する研修への継続参加</li> <li>●県（地域本部等）： 産振アドバイザー活用等による効率的な経営体制づくりの支援、衛生管理研修会の情報提供</li> </ul>		
	テストマーケティング開始		全国的な販路開拓による販売拡大		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱：県内・県外での本格販売に向けたマーケットリサーチ</li> <li>●土佐清水市：テストマーケティングの支援</li> <li>●県（地域本部等）：県アンテナショップを活用したテストマーケティング実施の支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： ターゲットを見据えた営業、市ゆかりの店（土佐清水ワールド等）へのアプローチ</li> <li>●土佐清水市：販路開拓の支援</li> <li>●県（地域本部等）： 県アンテナショップを活用した販売促進、営業協力に関する地産外商公社への橋渡し</li> </ul>		
◆メジカ・宗田節の全国的なPR	スープブrossの全国展開等による宗田節の効果的な情報発信				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： スープブrossの全国的な販路開拓活動と連動した情報発信、HP及びSNSでの情報発信の強化</li> <li>●宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市： 知ってもらいたい委員会の運営、宗田節ロード及び宗田節祭りの継続開催、市ゆかりの店（土佐清水ワールド等）と連携したPR</li> <li>●県（水産振興部、地域本部等）： 水産振興に関する補助事業による支援、知ってもらいたい委員会への参画による助言・情報提供・関係機関との連携、PR活動への人的支援</li> </ul>					

AP 名 (実施地域)	<b>No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎土佐清水食品(株)、 <u>土佐清水鯉節水産加工協同組合</u> 、宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市
AP への位置づけ	H21.4月
事業概要	土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売の促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消・外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
土佐清水食品(株)の売上高	18.5 億円 (H30)	18.9 億円	19.0 億円		23.6 億円

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>保管・加工施設の整備及び運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業戦略策定 (H29、土佐清水 HD)</li> <li>・メジカ産業プロジェクト推進協議会の設立 (H29)</li> <li>・新冷凍保管施設の稼働開始 (H31.4月)</li> <li>・残渣処理施設の稼働開始 (R3.1月)</li> <li>・共同加工施設本体工事完成 (R3.10月)</li> <li>・県版 HACCP 旧第2ステージ認証取得 (H29)</li> <li>・県版 HACCP 旧第3ステージ認証取得 (R元)</li> </ul> <p>◆<b>スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物流通システムの整備等 (H21、元気プロジェクト) →産振補助金の活用</li> <li>・殺菌・真空包装機器の整備 (H22、土佐食) →産振補助金の活用</li> <li>・新商品開発 (H23、H25、元気プロジェクト) →H23、H25 産振補助金の活用</li> <li>・宗田節ポン酢が「高知家のうまいもの大賞」優秀賞受賞 (H28)</li> <li>・スープブロス開発 (H30)</li> <li>・土佐清水食品(株)発足 (R元) (土佐清水ホールディングス(株)が土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクトを吸収合併)</li> <li>・スープブロスのテストマーケティング開始 (R元～)</li> <li>・スープブロス製造ラインの整備 (R3) →R2 産振補助金の活用</li> </ul>	<p>◆<b>メジカ・宗田節の全国的なPR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節 PR(テレビ CM 等) (H24、知ってもらいたい委員会) →H24 産振補助金の活用</li> <li>・宗田節ロード(スタンプラリー)実施 (H29～R2)</li> <li>・宗田節まつりの開催 (H30、R元、R3、R4)</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節まつり来場者数</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>H30 : 2,200 人              R元 : 2,500 人              R3 : 9,500 人 (産業祭と合同開催)              R4 : 3,000 人 (あしうわまんぶくフェスタ、ジョン万祭り              と合同開催)</p> </div> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原魚の確保</li> <li>・共同加工施設、残渣加工施設、冷凍保管施設の利用促進</li> <li>・スープブロスの販路拡大</li> <li>・宗田節の知名度の向上、市民向けプロモーション</li> </ul>

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆保管・加工施設の整備及び運営	保管・加工施設の整備及び円滑な運営				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市、土佐清水鯉節水産加工協同組合： 共同加工施設（R4.4月稼働予定）、残渣処理施設（R3.4月稼働開始）の整備、冷凍保管施設（H31.4稼働開始）をはじめ整備施設の円滑な運営、宗田節加工事業者の施設利用の促進</li> <li>●土佐清水食品㈱： 効率的な人員配置・生産管理等による3施設の円滑な運営</li> <li>●県（水産振興部等）： 施設整備にあたっての国補助制度活用に関する支援、衛生管理研修会の情報提供、HACCPアドバイザーの活用による社内勉強会実施を支援</li> </ul>				
◆スープブrossを核とした、製造・販売体制の確立	製造ライン整備		スープブrossの製造の拡大に向けた体制づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： 製造ライン整備にかかる事業計画策定、ライン整備</li> <li>●土佐清水市：製造ラインを整備する施設の貸与、市産業振興補助金による支援</li> <li>●県（地域本部等）： 製造ライン整備の事業計画策定の支援、産業振興総合補助金による支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： 新会社の効率的な運営体制の再構築、衛生管理に関する研修への継続参加</li> <li>●県（地域本部等）： 産振アドバイザー活用等による効率的な経営体制づくりの支援、衛生管理研修会の情報提供</li> </ul>		
	テストマーケティング開始		全国的な販路開拓による販売拡大		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱：県内・県外での本格販売に向けたマーケットリサーチ</li> <li>●土佐清水市：テストマーケティングの支援</li> <li>●県（地域本部等）：県アンテナショップを活用したテストマーケティング実施の支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： ターゲットを見据えた営業、市ゆかりの店（土佐清水ワールド等）へのアプローチ</li> <li>●土佐清水市：販路開拓の支援</li> <li>●県（地域本部等）： 県アンテナショップを活用した販売促進、営業協力に関する地産外商公社への橋渡し</li> </ul>		
◆メジカ・宗田節の全国的なPR	スープブrossの全国展開等による宗田節の効果的な情報発信				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水食品㈱： スープブrossの全国的な販路開拓活動と連動した情報発信、HP及びSNSでの情報発信の強化</li> <li>●宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市： 知ってもらいたい委員会の運営、宗田節ロード及び宗田節祭りの継続開催、市ゆかりの店（土佐清水ワールド等）と連携したPR</li> <li>●県（水産振興部、地域本部等）： 水産振興に関する補助事業による支援、知ってもらいたい委員会への参画による助言・情報提供・関係機関との連携、PR活動への人的支援</li> </ul>					

# 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP 名</b> (実施地域)	<b>No.17 宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	(株)たけまさ商店
<b>AP への位置づけ</b>	R2.4月
<b>事業概要</b>	新たな加工販売・体験型観光施設を核として、付加価値の高い一般消費者向け削り節商品の販売拡大や、節づくり体験観光の利用者数増加を図ることにより、地域の基幹産業である宗田節の販売拡大及び知名度の向上を目指す。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1) 売上高	7,400 万円 (R 元)	5,889 万円	6,156 万円	9,600 万円
(2) 体験者数	200 名 (R 元)	96 名	198 名	700 名

会計年度：8～7月

## これまでの主な動き

### <これまでの取り組みの内容>

#### ◆生産体制の強化

- ・株式会社化 (H30)
- ・土佐 M B A「商人塾・短期集中コース」受講 (R2)
- ・「宗田節加工販売・体験観光施設」の整備 (R2)  
→産振補助金の活用

#### ◆販売拡大

- ・一般消費者向け加工商品の販売開始 (H21)
- ・高知県産品商談会への出展 (R 元～)
- ・幡多商談会への出展 (R 元、R3)
- ・県外の商談会への出展 (R 元～)
- ・販売拡大に向けたセミナーの受講 (オンライン商談、スマホ動画作成) (R2)
- ・刃物メーカーと連携した商品を開発 (R2)

#### ◆節納屋体験観光の強化

- ・節納屋体験観光の事業プランが、「高知を盛り上げるビジネスプランコンテスト」優秀賞を受賞 (H28)
- ・「節納屋」(宗田節の加工事業者) 体験観光の本格展開 (H29～)
- ・軽食の提供 (R3)
- ・オンライン体験の試行 (R3)

### <主な成果>

- ・雇用の創出  
正社員 2 名、パート等 8 名 (R2.1 月)

### <課題>

- ・宗田節の知名度の向上
- ・新たな宗田節加工販売・体験観光施設の整備及び円滑な運用
- ・観光体験メニューの充実による体験型観光客数の増加

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆生産体制の強化	施設整備及び HACCP 取得		増産に伴う生産体制の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 施設整備及び稼働開始、県版 HACCP 新第2ステージ認証取得</li> <li>●県（地域本部等）： 産振補助金の活用、各種研修会への参加の呼びかけ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 新たな人材の雇用及び育成、生産管理面の見直しによる効率アップ</li> <li>●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種セミナー情報提供</li> </ul>		
◆販売拡大	ターゲットを見据えた販路開拓		商品アイテムの充実強化による販売拡大		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： ターゲット別の商談会への出展による営業先開拓、既存取引先への販売拡大</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会等の情報提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 市場調査によるニーズ把握、既存商品のブラッシュアップ及び新たな商品開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品改良・開発に関する産業振興アドバイザーの活用、県アンテナショップでのテストマーケティング支援、各種支援メニューの情報提供</li> </ul>		
	販路拡大に向けた基盤づくり		ネット媒体を活用した個人顧客の獲得		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 販促ツールの作成、専門家を通じた情報発信のスキルアップ</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、土佐 MBA 等講座の紹介</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： SNS の活用による宗田節の魅力や観光情報の発信、顧客情報のデータベース化、顧客との双方向コミュニケーションによるファンづくり</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案</li> </ul>		
◆節納屋体験観光の強化	体験メニューの充実による新規顧客の獲得				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 利用者ニーズを反映した体験メニューの内容改定、販促ツールの作成、ネット媒体による情報発信のスキルアップ、市観光協会及び幡多広域観光協議会と連携した情報発信</li> <li>●県（地域本部等）： 販促ツールの充実、ネット媒体の活用に関するスキルアップのための産業振興アドバイザーの活用提案、関係機関との連携</li> </ul>				



修正後

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.17 宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	(株)たけまさ商店
<b>APへの位置づけ</b>	R2.4月
<b>事業概要</b>	新たな加工販売・体験型観光施設を核として、付加価値の高い一般消費者向け削り節商品の販売拡大や、節づくり体験観光の利用者数増加を図ることにより、地域の基幹産業である宗田節の販売拡大及び知名度の向上を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 売上高	7,400万円 (R元)	5,889万円	6,156万円	6,539万円	9,600万円
(2) 体験者数	200名 (R元)	96名	198名	465名	700名

会計年度：8～7月

これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>生産体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社化 (H30)</li> <li>・土佐MBA「商人塾・短期集中コース」受講 (R2)</li> <li>・「宗田節加工販売・体験観光施設」の整備 (R2) →産振補助金の活用</li> </ul> <p>◆<b>販売拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者向け加工商品の販売開始 (H21)</li> <li>・高知県産品商談会への出展 (R元～)</li> <li>・幡多商談会への出展 (R元、R3)</li> <li>・県外の商談会への出展 (R元～)</li> <li>・販売拡大に向けたセミナーの受講 (オンライン商談、スマホ動画作成) (R2)</li> <li>・刃物メーカーと連携した商品を開発 (R2)</li> <li>・だしバーガー、宗田節定食の販売 (R4)</li> </ul>	<p>◆<b>節納屋体験観光の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節納屋体験観光の事業プランが、「高知を盛り上げるビジネスプランコンテスト」優秀賞を受賞 (H28)</li> <li>・「節納屋」(宗田節の加工事業者) 体験観光の本格展開 (H29～)</li> <li>・軽食の提供 (R3)</li> <li>・オンライン体験の試行 (R3)</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の創出 正社員2名、パート等8名 (R元年度) 正社員4名、パート等5名 (R4.12月)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原魚の確保</li> <li>・加工商品の開発</li> <li>・宗田節の知名度の向上</li> <li>・体験型観光客数の増加</li> </ul>
---	---



第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆生産体制の強化	施設整備		増産に伴う生産体制の強化及び衛生管理体制の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 施設整備及び稼働開始</li> <li>●県（地域本部等）： 産振補助金の活用、各種研修会への参加の呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 新たな人材の雇用及び育成、生産管理面の見直しによる効率アップ、<u>県版 HACCP 新第2ステージ認証取得による衛生管理体制の強化</u></li> <li>●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種セミナー情報提供</li> </ul>			
◆販売拡大	ターゲットを見据えた販路開拓		商品アイテムの充実強化による販売拡大		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： ターゲット別の商談会への出展による営業先開拓、既存取引先への販売拡大</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会等の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 市場調査によるニーズ把握、既存商品のブラッシュアップ及び新たな商品開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品改良・開発に関する産業振興アドバイザーの活用、県アンテナショップでのテストマーケティング支援、各種支援メニューの情報提供</li> </ul>			
	販路拡大に向けた基盤づくり		ネット媒体を活用した個人顧客の獲得		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 販促ツールの作成、専門家を通じた情報発信のスキルアップ</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、土佐 MBA 等講座の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： SNS の活用による宗田節の魅力や観光情報の発信、顧客情報のデータベース化、顧客との双方向コミュニケーションによるファンづくり</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案</li> </ul>			
◆節納屋体験観光の強化	体験メニューの充実による新規顧客の獲得				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)たけまさ商店： 利用者ニーズを反映した体験メニューの内容改定、販促ツールの作成、ネット媒体による情報発信のスキルアップ、市観光協会及び幡多広域観光協議会と連携した情報発信</li> <li>●県（地域本部等）： 販促ツールの充実、ネット媒体の活用に関するスキルアップのための産業振興アドバイザーの活用提案、関係機関との連携</li> </ul>					

修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP 名 (実施地域)</b>	<b>No.18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	(有)ヤマア
<b>AP への 位置づけ</b>	R3.4月
<b>事業概要</b>	宗田節等生産の焙乾工程に、新たに焼津式乾燥機等を導入し、生産性の向上や生産拡大、削り節小売商品の磨き上げにつなげることにより、安定的な雇用拡大や地域の基幹産業の振興、知名度向上を目指す。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
売上高	1.9 億円 (R元)	1.5 億円		2.5 億円

会計年度：7～6月

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆顧客のニーズに合わせた節製造の強化

- ・宗田節（丸節）の生産拡大（R元～）
- ・宗田節以外の節（サバ、ムロ、うるめ節等）の生産拡大（R元～）
- ・県版 HACCP 旧第2ステージ認証取得（R元）
- ・経営戦略策定（R2）

→産振アドバイザー（発掘支援型）の活用

◆販売拡大・新商品の開発

- ・ECサイトを活用した販売開始（R元～）
- ・新商品「宗田ジャージャー」の開発・販売開始（R元）
- ・高知県産品商談会（県地産外商公社）への出展（R2）
- ・オンライン商談会への参加（R2）
- ・動画を活用した商品PR（R2～）
- ・ラーメン店への業務用商品の販売（R2～）
- ・SNSを活用した商品PR（R2～）
- ・「ラーメンにのせる宗田節オイル」  
高知家のうまいもの大賞 優秀賞 受賞（R3）

◆雇用体制の強化

- ・旧来の節納屋の雇用形態の見直し（R2）
- ・宗田節以外の節の生産強化による年間操業及び雇用の安定

＜課題＞

- ・顧客のニーズに合わせた丸節の生産拡大
- ・小売商品の販売増
- ・インターネットを活用した販売の強化
- ・雇用の拡大、外国人労働者の受入れ
- ・新規取引先の開拓
- ・衛生管理体制の強化（小売商品を含む）  
→県版 HACCP 新第2ステージ認証取得

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化	施設整備及び HACCP 認証取得		生産体制の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 施設整備（焼津式乾燥機、煮熟設備）及び稼働開始、県版 HACCP 新第2ステージ認証取得</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用、各種研修の参加呼びかけ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 増産に伴う生産管理の見直し、サバ、ムロ、うるめ等の節の生産強化、従業員のスキルアップ</li> <li>●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種セミナーの情報提供</li> </ul>		
◆販売拡大・新商品の開発	既存商品の磨き上げ		新商品の開発		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： マーケティング分析や既存商品のパッケージの見直し等の改良、ブランディング</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、商談会等の情報提供</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 市場調査によるニーズの把握及び新商品の開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援メニューの提案</li> </ul>		
	販路開拓		インターネットを活用した販売の促進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 商談会等への出展による販売先の開拓、既存取引先への販売拡大、他事業者と連携した販路開拓</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会の情報提供、土佐MBA等の講座の提案</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： HPやSNSを活用し、宗田節商品等のPR、販売促進</li> <li>●県（地域本部等）： 各種研修、セミナー等の参加呼びかけ</li> </ul>		
◆雇用体制の強化	生産増に伴う雇用の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 生産増に伴う雇用の創出、外国人研修生の受入れ</li> <li>●県（地域本部等）： 各種支援策の提案、研修等の参加呼びかけ</li> </ul>				

修正後

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	<b>No.18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
実施主体	(有)ヤマア
APへの位置づけ	R3.4月
事業概要	宗田節等生産の焙乾工程に、新たに焼津式乾燥機等を導入し、生産性の向上や生産拡大、削り節小売商品の磨き上げにつなげることにより、安定的な雇用拡大や地域の基幹産業の振興、知名度向上を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
売上高	1.9億円 (R元)	1.5億円	1.6億円		2.5億円

会計年度：7～6月

これまでの主な動き

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆顧客のニーズに合わせた節製造の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節（丸節）の生産拡大（R元～）</li> <li>・宗田節以外の節（サバ、ムロ、うるめ節等）の生産拡大（R元～）</li> <li>・県版 HACCP 旧第2ステージ認証取得（R元）</li> <li>・経営戦略策定（R2） →産振アドバイザー（発掘支援型）の活用</li> </ul> <p>◆販売拡大・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイトを活用した販売開始（R元～）</li> <li>・新商品「宗田ジャージャー」の開発・販売開始（R元）</li> <li>・高知県産品商談会（県地産外商公社）への出展（R2）</li> <li>・オンライン商談会への参加（R2）</li> <li>・動画を活用した商品PR（R2～）</li> <li>・ラーメン店への業務用商品の販売（R2～）</li> <li>・SNSを活用した商品PR（R2～）</li> <li>・「ラーメンにのせる宗田節オイル」 高知家のうまいもの大賞 優秀賞 受賞（R3）</li> </ul> <p>◆雇用体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧来の節納屋の雇用形態の見直し（R2）</li> <li>・宗田節以外の節の生産強化による年間操業及び雇用の安定</li> <li>・外国人技能実習生の受入れ 2名（R4）</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正社員の増加 R2：5名 → R4：6名</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原魚の確保</li> <li>・顧客のニーズに合わせた丸節の生産拡大</li> <li>・他魚の活用による安定した年間操業</li> <li>・水産製品製造許可の取得</li> <li>・衛生管理体制の強化（小売商品を含む） →県版 HACCP 新第2ステージ認証取得</li> <li>・新規取引先の開拓</li> </ul>
--	--

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降	
◆顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化	<b>施設整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 施設整備（焼津式乾燥機、煮熟設備）及び稼働開始</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用、各種研修の参加呼びかけ</li> </ul>		<b>生産体制の強化及び衛生管理体制の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 増産に伴う生産管理の見直し、サバ、ムロ、うるめ等の節の生産強化、従業員のスキルアップ。<u>県版 HACCP 新第2ステージ認証取得による衛生管理体制の強化</u></li> <li>●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用の提案、各種セミナーの情報提供</li> </ul>			
	◆販売拡大・新商品の開発	<b>既存商品の磨き上げ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： マーケティング分析や既存商品のパッケージの見直し等の改良、ブランディング</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、商談会等の情報提供</li> </ul>		<b>新商品の開発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 市場調査によるニーズの把握及び新商品の開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援メニューの提案</li> </ul>		
<b>販路開拓</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 商談会等への出展による販売先の開拓、既存取引先への販売拡大、他事業者と連携した販路開拓</li> <li>●県（地域本部等）： 商談会の情報提供、土佐MBA等の講座の提案</li> </ul>		<b>インターネットを活用した販売の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： HPやSNSを活用し、宗田節商品等のPR、販売促進</li> <li>●県（地域本部等）： 各種研修、セミナー等の参加呼びかけ</li> </ul>				
◆雇用体制の強化					<b>生産増に伴う雇用の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(有)ヤマア： 生産増に伴う雇用の創出、外国人研修生の受入れ</li> <li>●県（地域本部等）： 各種支援策の提案、研修等の参加呼びかけ</li> </ul>	

# 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野	農業
----	----

AP 名 (実施地域)	<b>No.20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化</b> (四万十市)
実施主体	◎(株)四万十牛本舗、西土佐中央牧場、地域事業者
AP への 位置づけ	H25.4 月
事業概要	西土佐地区の四万十牛の生産者及び加工販売事業者が、生産から加工、販売まで一貫してその強化に取り組むとともに、地域の道の駅、アクティビティ、宿泊等の関連事業者と連携し、四万十牛の地域内外での認知度向上及び販売拡大を推進することにより地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
売上高	1 億 9,000 万円 (H30)	1 億 8,524 万円		2 億 6,800 万円

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>新たな加工販売施設の整備・運営</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工販売に関する事業戦略の検討 (H29) →産業振興アドバイザーの活用</li> <li>・新加工販売施設整備 (R2) →産振補助金の活用</li> </ul> </li> <li>◆<b>商品開発及び販売促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド力を活かした経営戦略を検討 (H26) →産業振興アドバイザーの活用</li> <li>・焼肉店(焼肉よこやま)を開業 (H26)</li> <li>・道の駅よって西土佐と連携した商品展開(食堂メニュー・惣菜・弁当) (H28~)</li> <li>・「はれのば」テナントとして焼肉店「いぶき」を出店 (R2)</li> </ul> </li> <li>◆<b>地元事業者との連携強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西土佐地域産業振興推進協議会の設立(H31.2月)</li> </ul> </li> <li>◆<b>生産体制の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜舎増築 (H27) →県レンタル畜舎施設等整備事業を活用</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の創出 H27 時点：14 人→R2 時点：24 人</li> <li>・第 11 回神戸市西部市場銘柄和牛共進会優良受賞 (R2)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新加工場で県版 HACCP 新第 2 ステージの認証取得</li> <li>・ブランド化に向けた新商品の開発</li> <li>・社内体制の強化</li> <li>・西土佐地域産業振興推進協議会をはじめとした地域事業者との連携強化</li> <li>・「四万十牛」の生産体制の強化</li> </ul>

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆新たな加工販売施設の整備・運営	<p>施設整備による加工・販売機能の向上及び HACCP 認証取得による衛生管理体制の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗：加工販売施設の整備、県版 HACCP 新第2ステージ認証取得及び取得後の衛生管理の維持・向上、加工製造の効率アップ、イトインでのバーベキュー展開、小売スペースでの販売強化、店舗 PR 機能の強化</li> <li>●県（地域本部等）：産業振興総合補助金による施設整備支援、HACCP 研修及びアドバイザー活用による県版 HACCP 新第2ステージの認証取得支援</li> </ul>				
◆商品開発及び販売促進	<p>新商品の開発・加工品の製造拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗：道の駅等で販売する土産物の開発及び製造拡大、地域産品を活用した加工品の開発及び製造拡大</li> <li>●県（地域本部等）：産業振興アドバイザーの活用提案</li> </ul> <p>販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗：各種商談会への参加を通じた県内外飲食店等の販路開拓、ふるさと納税返礼品のさらなる充実、メディア媒体を活用した情報発信強化</li> <li>●県（地域本部等）：高知県地産外商公社やメディア媒体などの関係機関への橋渡し、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆地元事業者との連携強化	<p>西土佐地域産業振興推進協議会の取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗、地域事業者（協議会）：四万十牛加工品の販売拡大、地域資源を活かした新たな旅行商品の開発、地域の情報発信力強化の検討（顧客情報の DM 活用等）</li> <li>●四万十市：協議会の運営支援、協議会メンバーの情報発信強化（HP リニューアル等）等の事業化に対する支援、ふるさと納税返礼品掲載を通じた PR</li> <li>●県（地域本部等）：協議会の運営支援及び参画によるアドバイス、産業振興アドバイザーの活用提案</li> </ul>				
◆生産体制の強化	<p>生産体制の強化及び畜舎増設に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●西土佐中央牧場：需要に応じた生産量の拡大、将来的なさらなる畜舎増築に向けた計画の検討、担い手の育成</li> <li>●県（西部家畜保健衛生所等）：肥育現場での助言、畜舎増築計画策定にあたってのレンタル畜舎整備事業等による支援の検討</li> </ul>				



<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化</b> (四万十市)
<b>実施主体</b>	◎(株)四万十牛本舗、(株)横山畜産、地域事業者
<b>APへの 位置づけ</b>	H25.4月
<b>事業概要</b>	西土佐地区の四万十牛の生産者及び加工販売事業者が、生産から加工、販売まで一貫してその強化に取り組むとともに、地域の道の駅、アクティビティ、宿泊等の関連事業者と連携し、四万十牛の地域内外での認知度向上及び販売拡大を推進することにより地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
売上高	1億9,000万円 (H30)	1億8,524万円	2億127万円		2億6,800万円

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>新たな加工販売施設の整備・運営</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工販売に関する事業戦略の検討 (H29)</li> <li>→産業振興アドバイザーの活用</li> <li>・新加工販売施設整備 (R2)</li> <li>→産振補助金の活用</li> </ul> </li> <li>◆<b>商品開発及び販売促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド力を活かした経営戦略を検討 (H26)</li> <li>→産業振興アドバイザーの活用</li> <li>・焼肉店(焼肉よこやま)を開業 (H26)</li> <li>・道の駅よって西土佐と連携した商品展開(食堂メニュー・惣菜・弁当) (H28~)</li> <li>・「はれのば」テナントとして焼肉店「いぶき」を出店 (R2)</li> </ul> </li> <li>◆<b>地元事業者との連携強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西土佐地域産業振興推進協議会の設立(H31.2月)</li> </ul> </li> <li>◆<b>生産体制の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜舎増築 (H27)</li> <li>→県レンタル畜舎施設等整備事業の活用</li> <li>・堆肥舎新築 (R4)</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の創出</li> <li>H27時点：14人→R4時点(12月時点)：23人</li> <li>・第11回神戸市西部市場銘柄和牛共進会優良賞受賞 (R2)</li> <li>・第13回神戸市西部市場銘柄和牛共進会 優秀賞受賞 (R4)</li> <li>・「土佐丼グランプリ2022」グランプリ受賞 (R4)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新加工場で県版 HACCP 新第2ステージの認証取得</li> <li>・ブランド化に向けた取組の強化</li> <li>・西土佐地域産業振興推進協議会をはじめとした地域事業者との連携強化</li> <li>・生産・販売体制の強化</li> </ul>



第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆新たな加工販売施設の整備・運営	施設整備による加工・販売機能の向上及び HACCP 認証取得による衛生管理体制の向上				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗： 加工販売施設の整備、県版 HACCP 新第2ステージ認証取得及び取得後の衛生管理の維持・向上、加工製造の効率アップ、イトインでのパーベキュー展開、小売スペースでの販売強化、店舗 PR 機能の強化</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興総合補助金による施設整備支援、HACCP 研修及びアドバイザー活用による県版 HACCP 新第2ステージの認証取得支援</li> </ul>				
◆商品開発及び販売促進	新商品の開発・加工品の製造拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗：道の駅等で販売する土産物の開発及び製造拡大、地域産品を活用した加工品の開発及び製造拡大</li> <li>●県（地域本部等）：産業振興アドバイザーの活用提案</li> </ul>				
	販促活動				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗：各種商談会への参加を通じた県内外飲食店等の販路開拓、ふるさと納税返礼品のさらなる充実、メディア媒体を活用した情報発信強化</li> <li>●県（地域本部等）：高知県地産外商公社やメディア媒体などの関係機関への橋渡し、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>					
◆地元事業者との連携強化	西土佐地域産業振興推進協議会の取り組みの強化				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)四万十牛本舗、地域事業者（協議会）： 四万十牛加工品の販売拡大、地域資源を活かした新たな旅行商品の開発、地域の情報発信力強化の検討（顧客情報の DM 活用等）</li> <li>●四万十市：協議会の運営支援、協議会メンバーの情報発信強化（HP リニューアル等）等の事業化に対する支援、ふるさと納税返礼品掲載を通じた PR</li> <li>●県（地域本部等）：協議会の運営支援及び参画によるアドバイス、産業振興アドバイザーの活用提案</li> </ul>				
◆生産体制の強化	生産体制の強化及び畜舎増設に向けた検討				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)横山畜産： 需要に応じた生産量の拡大、将来的なさらなる畜舎増築に向けた計画の検討、担い手の育成</li> <li>●県（西部家畜保健衛生所等）： 肥育現場での助言、畜舎増築計画策定にあたってのレンタル畜舎整備事業等による支援の検討</li> </ul>				

修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.26 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化</b> (四万十市)
<b>実施主体</b>	◎四万十市中心商店街活性化協議会、◎四万十にぎわい商店(株)、四万十市
<b>APへの位置づけ</b>	H29.4月
<b>事業概要</b>	中心商店街内に整備した地域商業活性化拠点「Shimanto+Terrace はれのぼ」を核に、県内外の観光客といった新たな顧客を官民協働で呼び込むことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらす、中心市街地の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1) 中心商店街エリア内の売上額 ※	8億3,100万円 (H30)	7億2,500万円		9億1,411万円
(2) 中心商店街エリア内の通行量 ※	平日 5,226人 休日 4,036人 (H26~30 平均)	平日 5,824人 休日 3,244人		平日 6,005人 休日 4,647人
(3) 中心商店街エリア内の新規出店者数	2店舗 (H30)	11店舗 (R元~2 累計)		8店舗 (R元~5 累計)
(4) 売上額 (四万十にぎわい商店(株))	- (H30)	1,764万円		1,861万円

※ 集計年度 (1) (2) : 1~12月

これまでの主な動き	
<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆<b>拠点施設の魅力向上と情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営主体の決定：四万十にぎわい商店(株) (H29.6月)</li> <li>・名称の決定：「Shimanto+Terrace はれのぼ」 (R元.12月)</li> <li>・施設整備(R2.3月完成、4月オープン) →地域経済活性化拠点補助金の活用</li> <li>・はれのぼ PR 動画作成 (R2)</li> <li>・主催、持込みイベントの開催 (R2~)</li> </ul> <p>◆<b>中心市街地エリアへの経済波及促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小機構「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」の活用</li> <li>・四万十市中心商店街活性化協議会の設立 (H30.10月)</li> <li>・四万十市中心商店街活性化計画づくり (H30) →産業振興アドバイザーの活用</li> <li>・四万十市中心商店街活性化計画の策定 (R元)</li> </ul>	<p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グッドデザイン賞受賞 (R2)</li> <li>・「日本空間デザイン賞 2020 (日本空間デザイン協会/日本商環境デザイン協会)」銅賞受賞 (R2)</li> <li>・直営店「cafe n2」売上額：1,151万円 (R3.12月末時点)</li> <li>・直営店「cafe n2」入込客数：12,356人 (R3.12月末時点)</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点施設の魅力向上及び経営確立</li> <li>・拠点施設と中心商店街の連携によるシャワー効果の最大化</li> <li>・四万十市中心商店街活性化計画の実行</li> </ul>

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆拠点施設の 魅力向上と情報 発信	<b>拠点施設のカフェ及び店舗の魅力向上</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株) : カフェメニュー充実のための地域の食材調査、試作品づくり、市場調査（消費者の意見集約）、メニュー改良、新たなメニュー化の実現、テナント入居店舗のメニュー・サービスの改善提案、新たな加工商品の開発及び拠点施設での販売の検討</li> <li>●県（地域本部等） : 試作品づくりへのアドバイスを獲得するための産振アドバイザーの活用提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>拠点施設に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株)、四万十市中心商店街活性化協議会 : 集客イベントの実施、拠点を活用した持ち込みイベントの支援、マルシェの開催（日曜市の復活）支援</li> <li>●県（地域本部等） : 拠点でのイベント実施希望者に関する情報提供、イベント運営支援、情報発信</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>エリア情報の集約および情報発信基盤の整備</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 商店街店舗同士の情報共有、店舗の相互紹介サービスの実施とマップの作成、掲示板やチラシ等の既存の実媒体の強化、広報誌の新規発行、まちのポータルサイトの新規開設</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	<b>中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 店舗バックヤード等の紹介ツアー実施、拠点を活用した持ち込みイベントの情報集約及び開催への橋渡し、マルシェの開催（日曜市の復活）、毎月の「玉姫の日」イベント拡大実施、店舗を巡って遊ぶ「まちあそび人生ゲーム」イベントの継続実施</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>店舗新規参入の促進</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十市 : チャレンジショップ事業の推進、エリア内の空き店舗情報の共有</li> <li>●県（地域本部等） : 空き店舗対策事業費補助金による支援、その他事業各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				

AP名 (実施地域)	No.26 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化 (四万十市)
実施主体	◎四万十市中心商店街活性化協議会、◎四万十にぎわい商店(株)、四万十市
APへの位置づけ	H29.4月
事業概要	中心商店街内に整備した地域商業活性化拠点「Shimanto+Terrace はれのぼ」を核に、県内外の観光客といった新たな顧客を官民協働で呼び込むことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらす、中心市街地の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 中心商店街エリア内の売上額 ※	8億3,100万円 (H30)	7億2,500万円	7億0,400万円		9億1,411万円
(2) 中心商店街エリア内の通行量 ※	平日 5,226人 休日 4,036人 (H26~30 平均)	平日 5,824人 休日 3,244人	平日 4,743人 休日 2,954人		平日 6,005人 休日 4,647人
(3) 中心商店街エリア内の新規出店者数	2店舗 (H30)	11店舗 (R元~2累計)	12店舗 (R元~3累計)		16店舗 (R元~5累計)
(4) 売上額 (四万十にぎわい商店(株))	- (H30)	1,763万円	1,974万円		1,861万円

※ 集計年度 (1) (2) : 1~12月 (3) : 4~3月

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆拠点施設の魅力向上と情報発信

- ・運営主体の決定：四万十にぎわい商店(株)  
(H29.6月)
- ・名称の決定：「Shimanto+Terrace はれのぼ」  
(R元.12月)
- ・施設整備(R2.3月完成、4月オープン)  
→地域経済活性化拠点補助金の活用
- ・はれのぼ PR 動画作成 (R2)
- ・主催、持込みイベントの開催 (R2~)

◆中心市街地エリアへの経済波及促進

- ・中小機構「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」の活用
- ・四万十市中心商店街活性化協議会の設立  
(H30.10月)
- ・四万十市中心商店街活性化計画づくり (H30)  
→産業振興アドバイザーの活用
- ・四万十市中心商店街活性化計画の策定 (R元)

<主な成果>

- ・グッドデザイン賞受賞 (R2)
- ・「日本空間デザイン賞 2020 (日本空間デザイン協会/日本商環境デザイン協会)」銅賞受賞 (R2)
- ・直営店「cafe n2」売上額：1,142万円  
(R4.11月末時点)
- ・直営店「cafe n2」入込客数：12,059人  
(R4.11月末時点)

<課題>

- ・拠点施設の魅力向上及び経営確立
- ・拠点施設と中心商店街の連携によるシャワー効果の最大化
- ・四万十市中心商店街活性化計画の実行

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆拠点施設の 魅力向上と情報 発信	<b>拠点施設のカフェ及び店舗の魅力向上</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十にぎわい商店(株) : カフェメニュー充実のための地域の食材調査、試作品づくり、市場調査（消費者の意見集約）、メニュー改良、新たなメニュー化の実現、テナント入居店舗のメニュー・サービスの改善提案、新たな加工商品の開発及び拠点施設での販売の検討</li> <li>●県（地域本部等） : 試作品づくりへのアドバイスを獲得するための産振アドバイザーの活用提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	<b>拠点施設に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
◆中心市街地工 リアへの経済波 及促進	<b>エリア情報の集約および情報発信基盤の整備</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市 : 商店街店舗同士の情報共有、店舗の相互紹介サービスの実施とマップの作成、掲示板やチラシ等の既存の実媒体の強化、広報誌の新規発行、まちのポータルサイトの新規開設</li> <li>●県（地域本部等） : 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援、産振アドバイザーの活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
	<b>中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり</b>				
	<b>店舗新規参入の促進</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四万十市中心商店街活性化協議会、四万十市 : チャレンジショップ事業の推進、エリア内の空き店舗情報の共有</li> <li>●県（地域本部等） : 空き店舗対策事業費補助金による支援、その他事業各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				

## 修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.31 黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進 (黒潮町)
実施主体	◎土佐のあまみ屋、黒潮町商工会
APへの 位置づけ	R3.4月
事業概要	新たな採かん施設・結晶ハウスを核として、天日塩の生産量不足による売上げの機会損失を解消し、新たな加工品の開発・販売を行うとともに、黒潮町商工会による「地域ブランド化」の推進により、黒潮町産の天日塩全体の販売拡大と知名度の向上を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
売上高	2,442万円 (R元)	2,593万円		3,743万円

これまでの主な動き	
<p>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</p> <p>◆生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興アドバイザー(発掘支援型)の活用 (R2)</li> <li>土佐 MBA ナリワイセミナーの受講 (R2)</li> </ul> <p>◆販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネット通販の開始 (R3.2~)</li> <li>黒潮町ふるさと納税返礼品に登録 (R3.9~)</li> </ul> <p>◆地域ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体商標制度についての勉強会開催 (R2)</li> </ul>	<p>&lt;主な成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用の創出 R2: 7人</li> <li>「本場の本物※」認定 (H21) ※(一社)食品産業センターが認定する地域食品ブランドの表示基準</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産量不足の解消</li> <li>新規加工品の開発・販売</li> <li>県版 HACCP 新第2ステージの認証取得</li> <li>地域ブランド化の推進</li> </ul>

## 第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の強化	<b>新規採かん施設の整備</b>		<b>新規結晶ハウスの整備</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： 農地転用等の手続き、採かん施設整備、既存結晶ハウス内の結晶箱の増設</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： 新規結晶ハウス整備</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用</li> </ul>		
	<b>衛生管理体制の強化及び人材確保・育成</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： 県版 HACCP 新第2ステージ認証取得に向けた取り組み、雇用拡大、従業員教育の実施</li> <li>●県（地域本部等）： 県版 HACCP に関する講習会及び研修会等に係る情報提供、その他各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆販売拡大	<b>食品加工業者との連携・加工品開発、販売</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： ネット通販の開始、新たな加工品の開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発のための産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
◆地域ブランド化の推進	<b>地域ブランド化の推進</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●黒潮町商工会： 地域団体商標制度への出願検討、町内事業者の合意形成、地域認証制度の創設</li> <li>●県（地域本部等）： 地域の頑張る人づくり事業の提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
<p><b>【用語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体商標制度：地域の産品等について、事業者の信用の維持を図り、「地域ブランド」の保護による地域経済の活性化を目的として平成18年4月1日に導入された制度。「地域の名称」と「商品(サービス)名」等の組み合わせで登録可能。</li> <li>・地域認証制度：「製法基準」「産地基準」「安全基準」を設定し、基準をクリアした商品に対して認証を付与する制度。</li> </ul>					



AP名 (実施地域)	No.32 黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進 (黒潮町)
実施主体	◎土佐のあまみ屋、黒潮町商工会
APへの位置づけ	R3.4月
事業概要	新たな採かん施設を核として、天日塩の生産量不足による売上げの機会損失を解消し、新たな加工品の開発・販売を行うとともに、黒潮町商工会による「地域ブランド化」の推進により、黒潮町産の天日塩全体の販売拡大と知名度の向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
売上高	2,442万円 (R元)	2,593万円	2,859万円		3,338万円

## これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p>◆生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興アドバイザー(発掘支援型)の活用 (R2)</li> <li>・土佐 MBA ナリワイセミナーの受講 (R2)</li> <li>・採かん施設の増築及び既存結晶ハウス内の結晶箱の増設 (R4)</li> </ul> <p>→産振補助金の活用</p> <p>◆販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット通販の開始 (R3.2～)</li> <li>・黒潮町ふるさと納税返礼品に登録 (R3.9～)</li> </ul> <p>◆地域ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体商標制度についての勉強会開催 (R2)</li> </ul>	<p>◆雇用創出</p> <p>R2 : 6人 (正規5人、パート1人)</p> <p>R3 : 7人 (正規5人、パート2人)</p> <p>※代表を除く人数</p> <p>◆「本場の本物※」認定 (H21)</p> <p>※(一社)食品産業センターが認定する地域食品ブランドの表示基準</p> <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量不足の解消</li> <li>・県版 HACCP 新第2ステージの認証取得</li> <li>・地域ブランド化の推進</li> </ul>



第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆生産体制の強化</p>	<p>新規採かん施設の整備等検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： 農地転用等の手続き、採かん施設整備、既存結晶ハウス内の結晶箱の増設</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用</li> </ul>		<p>採かん施設の増築及び結晶箱の増設・稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： 採かん施設の増築及び既存結晶ハウス内の結晶箱の増設</li> <li>●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用</li> </ul> <p>衛生管理体制の強化及び人材確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： 県版 HACCP 新第2ステージ認証取得に向けた取り組み、雇用拡大、従業員教育の実施</li> <li>●県（地域本部等）： 県版 HACCP に関する講習会及び研修会等に係る情報提供、その他各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>		
<p>◆販売拡大</p>	<p>食品加工業者との連携・加工品開発、販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐のあまみ屋： ネット通販の開始、新たな加工品の開発</li> <li>●県（地域本部等）： 商品開発のための産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
<p>◆地域ブランド化の推進</p>	<p>地域ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●黒潮町商工会： 地域団体商標制度への出願検討、町内事業者の合意形成、地域認証制度の創設</li> <li>●県（地域本部等）： 地域の頑張る人づくり事業の提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>				
<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体商標制度：地域の産品等について、事業者の信用の維持を図り、「地域ブランド」の保護による地域経済の活性化を目的として平成18年4月1日に導入された制度。「地域の名称」と「商品(サービス)名」等の組み合わせで登録可能。</li> <li>・地域認証制度：「製法基準」「産地基準」「安全基準」を設定し、基準をクリアした商品に対して認証を付与する制度。</li> </ul>					

# 修正項目（案）

修正前

## 幡多地域アクションプラン

分野

観光

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.38 竜串地域の観光再生構想の推進</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	◎土佐清水市、竜串海洋観光クラスター推進協議会、(一社)土佐清水市観光協会、NPO 竜串観光振興会、観光事業者、ガイド団体
<b>APへの位置づけ</b>	H21.4月
<b>事業概要</b>	県立足摺海洋館のリニューアルオープンや足摺宇和海国立公園竜串ビジターセンター及びスノーピーク土佐清水キャンプフィールドのオープン等を地域観光再生の好機と捉え、地域資源を活用した観光商品づくりを行う地域団体と連携して、竜串地域が一体となって観光振興に取り組むことにより、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
入込客数	8.7万人 (H30)	19.2万人		17万人

集計期間：1～12月

<p><b>&lt;これまでの取り組みの内容&gt;</b></p> <p>◆事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竜串海洋観光クラスター推進協議会発足(H30.4月)</li> <li>・推進協議会において4モデルプロジェクトを設定(H30)</li> <li>・地元素材を活かしたメニュー開発(H30) →産振アドバイザーの活用</li> <li>・スノーピーク土佐清水キャンプフィールドオープン(H31.4月) →H30観光拠点補助金の活用</li> <li>・足摺宇和海国立公園「竜串ビジターセンター」オープン(R2.3月)</li> <li>・県立足摺海洋館「SATOUMI」オープン(R2.7月)</li> <li>・「SATOUMI」のプロモーション活動の活性化に向けた外部人材の活用(R2) →産振補助金(外部人材活用支援事業)の活用</li> <li>・ランチマップの作成(R2)</li> <li>・竜串の観光を考える会発足(R3)</li> </ul> <p>◆竜串地域利用計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竜串東側地域の整備計画策定(R元) →産振アドバイザーの活用</li> </ul>	<p>◆道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新土佐清水市地場産品販売施設連携協議会発足(R3)</li> <li>・食堂メニューを改良(R3) →産振アドバイザーの活用</li> <li>・道の駅改修事業計画の策定(R3)</li> </ul> <p><b>&lt;主な成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セット券(足摺海洋館 SATOUMI、海底館、グラスボート)販売数 R2:27,993</li> </ul> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣に昼食を取る場が少なく、規模も小さいため、入込客に対応できていない。</li> <li>・地域の事業者やガイド等が主体となった誘客のさらなる取り組み</li> <li>・3つの新施設(キャンプフィールド、ビジターセンター、新足摺海洋館)を核とした、体験プログラム等を楽しみ、地域を周遊し、宿泊につなげ、滞在時間を延ばす仕組みづくり</li> </ul>
--	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり	事業者連携による誘客の仕組みづくり及び実践			誘客の仕組みの拡大実践	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(一社)土佐清水市観光協会、竜串地域観光事業者：施設を核とした体験プログラムの実施、施設周辺の観光施設・体験プログラムが連携したセットプログラムの実施、イベント実施、着地型旅行商品の造成及び磨き上げ</li> <li>●土佐清水市：土佐清水キャンプフィールド、ビジターセンターの運営施設運営事業者と地域の観光事業者等への橋渡し</li> <li>●県（地域本部等）：観光拠点整備補助金等によるソフト及びハード面の取り組みの支援、自然&amp;体験キャンペーン等と連動した全国への情報発信</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●(一社)土佐清水市観光協会、竜串地域観光事業者：体験プログラム及びセットプログラムの磨き上げ、イベントの拡大実施、着地型旅行商品の磨き上げ</li> <li>●土佐清水市：土佐清水キャンプフィールド、ビジターセンターを核とした体験プログラムの磨き上げ</li> <li>●県（地域本部等）：新足摺海洋館 SATOUMI の運営観光拠点整備補助金等によるソフト及びハード面の取り組みの支援各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>	
◆竜串地域利用計画の推進	竜串利用計画の推進		竜串利用計画に基づいた、新たなハード及びソフト事業の検討・実施		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：竜串エリア利用計画策定、竜串東側整備（駐車場、売店施設整備等）</li> <li>●県（地域本部等）：観光拠点整備補助金の活用支援、計画策定協議の場への参画を通じた助言</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：利用計画に基づく、新たなハード及びソフト事業の検討・実施</li> <li>●県（地域本部等）：事業検討にあたって産振アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>		
◆道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進	事業計画の策定		施設整備	新たな道の駅による誘客の促進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：事業計画の策定、出品者等との連携強化</li> <li>●県（地域本部等）：産振補助金活用及び事業計画策定に関する助言</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：観光事業者と連携した情報発信、特産品の販売促進支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県（地域本部等）：事業実施にあたり産振アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>	

<b>AP名 (実施地域)</b>	<b>No.39 竜串地域の観光再生構想の推進</b> (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
<b>実施主体</b>	◎土佐清水市、竜串海洋観光クラスター推進協議会、(一社)土佐清水市観光協会、NPO 竜串観光振興会、観光事業者、ガイド団体
<b>APへの位置づけ</b>	H21.4月
<b>事業概要</b>	県立足摺海洋館のリニューアルオープンや足摺宇和海国立公園竜串ビジターセンター及びスノーピーク土佐清水キャンプフィールドのオープン等を地域観光再生の好機と捉え、地域資源を活用した観光商品づくりを行う地域団体と連携して、竜串地域が一体となって観光振興に取り組むことにより、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
入込客数 (1～12月)	8.7万人 (H30)	19.2万人	18.5万人		17万人
道の駅入込客数	6.2万人 (R2)	6.2万人	7.2万人		14.5万人
道の駅売上高	4,716万円 (R2)	4,716万円	5,071万円		1億 5,659万円

<これまでの取り組みの内容>

◆事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり

- ・竜串海洋観光クラスター推進協議会発足(H30.4月)
- ・推進協議会において4モデルプロジェクトを設定(H30)
- ・地元素材を活かしたメニュー開発 (H30)  
→産振アドバイザーの活用
- ・スノーピーク土佐清水キャンプフィールドオープン (H31.4月)  
→ H30 観光拠点補助金の活用
- ・足摺宇和海国立公園「竜串ビジターセンター」オープン (R2.3月)
- ・県立足摺海洋館「SATOUMI」オープン (R2.7月)
- ・「SATOUMI」のプロモーション活動の活性化に向けた外部人材の活用 (R2)  
→産振補助金(外部人材活用支援事業)の活用
- ・ランチマップの作成・更新 (R2～)
- ・竜串の観光を考える会発足 (R3)

◆竜串地域利用計画の推進

- ・竜串東側地域の整備計画策定 (R元)  
→産振アドバイザーの活用
- ・海ギャラテラスオープン (R4)

◆道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進

- ・新土佐清水市地場産品販売施設連携協議会発足 (R3)
- ・食堂メニューを改良 (R3)  
→産振アドバイザーの活用
- ・道の駅改修事業計画の策定 (R3)
- ・道の駅改修工事 (R4)  
→産振補助金の活用

<主な成果>

- ・セット券(足摺海洋館 SATOUMI、海底館、グラスボート)販売数 R3: 22,888

<課題>

- ・近隣に昼食を取る場が少なく、規模も小さいため、入込客に対応できていない。
- ・地域の事業者やガイド等が主体となった誘客のさらなる取組
- ・3つの新施設(キャンプフィールド、ビジターセンター、新足摺海洋館)を核とした、体験プログラム等を楽しみ、地域を周遊し、宿泊につなげ、滞在時間を延ばす仕組みづくり
- ・道の駅の円滑な整備及びリニューアルオープンに向けたPR

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり	事業者連携による誘客の仕組みづくり及び実践			誘客の仕組みの拡大実践	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(一社)土佐清水市観光協会、竜串地域観光事業者：施設を核とした体験プログラムの実施、施設周辺の観光施設・体験プログラムが連携したセットプログラムの実施、イベント実施、着地型旅行商品の造成及び磨き上げ</li> <li>●土佐清水市：土佐清水キャンプフィールド、ビジターセンターの運営施設運営事業者と地域の観光事業者等への橋渡し</li> <li>●県（地域本部等）：観光拠点整備補助金等によるソフト及びハード面の取り組みの支援、自然&amp;体験キャンペーン等と連動した全国への情報発信</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●(一社)土佐清水市観光協会、竜串地域観光事業者：体験プログラム及びセットプログラムの磨き上げ、イベントの拡大実施、着地型旅行商品の磨き上げ</li> <li>●土佐清水市：土佐清水キャンプフィールド、ビジターセンターを核とした体験プログラムの磨き上げ</li> <li>●県（地域本部等）：新足摺海洋館 SATOUMI の運営観光拠点整備補助金等によるソフト及びハード面の取り組みの支援各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>	
◆竜串地域利用計画の推進	竜串利用計画の推進		竜串利用計画に基づいた、新たなハード及びソフト事業の検討・実施		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：竜串エリア利用計画策定、竜串東側整備（駐車場、売店施設整備等）</li> <li>●県（地域本部等）：観光拠点整備補助金の活用支援、計画策定協議の場への参画を通じた助言</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：利用計画に基づく、新たなハード及びソフト事業の検討・実施</li> <li>●県（地域本部等）：事業検討にあたり産振アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>		
◆道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進	事業計画の策定		施設整備	新たな道の駅による誘客の促進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：事業計画の策定、出品者等との連携強化</li> <li>●県（地域本部等）：産振補助金活用及び事業計画策定に関する助言</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土佐清水市：観光事業者と連携した情報発信、特産品の販売促進支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県（地域本部等）：事業実施にあたり産振アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>	